

スタートアップガイド Ver.2.00

このたびは、MINI-Z 用送信機「EX-6R」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に、この「スタートアップガイド」で必要事項をご確認の上、取扱説明書(PDF ファイル)をお読み下さい。

※取扱説明書は付属の CD-ROM に収録されています。

製品内容：

マスターユニット EX-6R	-----	x1
ベシクグリップユニット(マスターユニット組立済)	-----	x1
ノーマルスタンド(グリップ装着済)	-----	x1
ステアリングユニット	-----	x1
LCD エクスパンション EXP-104 (マスターユニット組立済)	-----	x1
ホイールキャップ治具	-----	x1
スタートアップガイド	-----	x1
取扱説明書(CD-ROM)	-----	x1

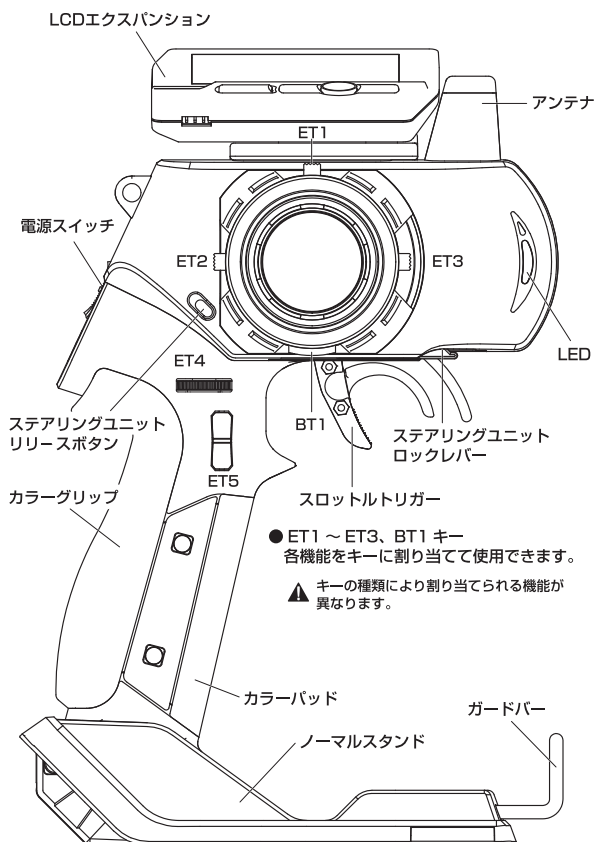
特にご注意頂きたい事項

- (1) ステアリングやエクスパンションなど、各ユニットの取り付け、取り外しは必ず電源を切った状態で行ってください。
- (2) エクスパンション装着時に電源オンのまま3分放置するとオペレーションアラームが働きブザーが鳴ります。キー操作をすると停止します。この機能は設定変更できませんのでご注意ください。
- (3) エクスパンション装着時にモデルセレクトの切り替えを行っても電波モードは切り替わりません。④の電波モードの切り替えを行ってください。

使用許諾について

“本文中の会社名または商品名については、それぞれの商標、または登録商標です。” 本製品に付属または弊社 HP よりダウンロードしたソフトウェアのご使用については、本製品の一部としての使用及びその目的での複製が認められます。それ以外の用途にはご使用にならないでください。なお、本製品およびソフトウェアの知的財産権やその他の法的な諸権利は、京商株式会社にあります。法律に違反する行為 (CD-ROM に収録のソフトウェアおよび取扱説明書などのマニュアル類に関する複製、改版、不特定多数に対する無許可の公開・閲覧など) については、法令上の罰則、その他の適用を申し立てる場合があります。

各部の名称

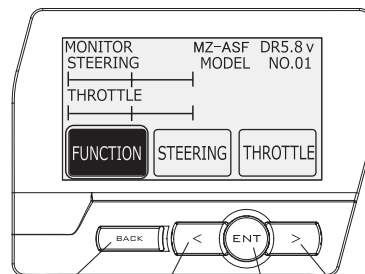


● ET1 ~ ET3, BT1 キー
各機能をキーに割り当てて使用できます。

▲ キーの種類により割り当てられる機能が異なります。

エクスパンション操作部

画面操作は、ENT 操作キーと L (<) キー、R (>) キー、BACK キーの 4 つでこなします。



BACK キー L (<) キー ENT キー R (>) キー

ENT キー：

カーソル (黒反転) で選択中のメニューに進んだり、設定変更モード (カーソル点滅) に入ります。設定変更後に再度 ENT キーを押すと、カーソル点滅が終了します。

L (<) キー：

カーソルを左へ移動します。(カーソル点滅中の) 設定変更モードでは数値を減らします。

R (>) キー：

カーソルを右へ移動します。(カーソル点滅中の) 設定変更モードでは数値を増やします。

BACK キー：

1 つ上の階層メニューに戻ります。設定変更モードではカーソル点滅が終了します。

L (<) キー・R (>) キー同時押し：

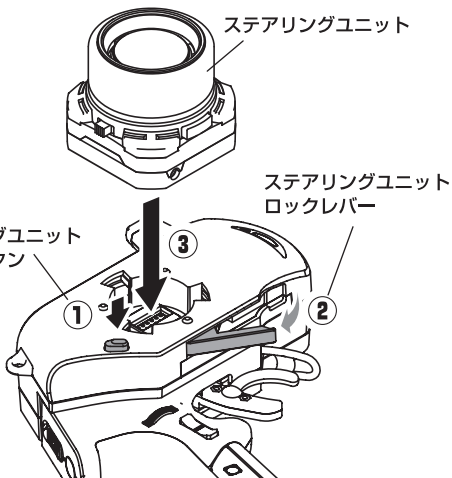
設定変更モードで数値をリセットします。

※詳細機能と操作については取扱説明書をご参照ください。

初めてご使用いただく際には、以下の設定を必ず実行してください。※設定を行わないと正常に動作しません。

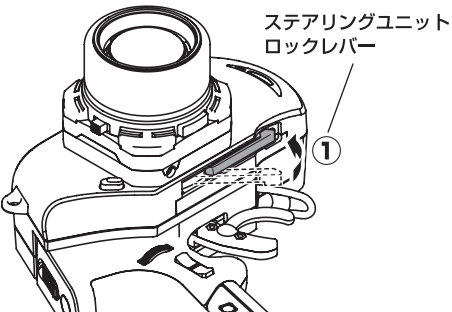
※モデルによっては工場出荷時にエクспанションユニットが装着されています。

1 ステアリングユニットの取り付け方

1. 

ステアリングユニット

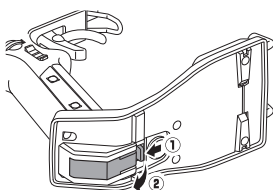
ステアリングユニット
ロックレバー

ステアリングユニット
リリースボタン
2. 

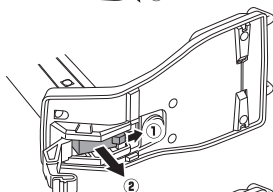
ステアリングユニット
ロックレバー

2 電池の挿入

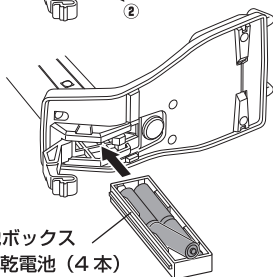
1. 送信機底面の電池ボックスカバーの突起①を押さえながら開きます。②



2. ロック①をはずして電池ボックス②を引き出します。



3. 電池ボックスに単四乾電池4本を＋の向きに注意して入れ、元に戻します。



⚠ 乾電池は十分に容量のあるものご使用ください。容量が少ないと送信出力が低下し、動作不良を起こします。

⚠ 単四型ニッカド及びニッケル水素電池は使用しないでください。(電池接点の腐食により接触不良がおきることがあります。)

3 ボリュームインフォメーションの設定

本機の CPU とステアリングおよびスロットルの位置情報を設定する機能です。

※必ず設定をおこなってください。

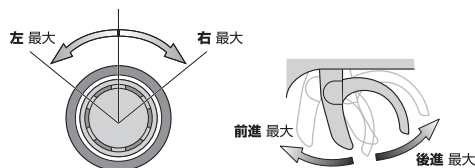
- 初めて本機を使用するとき
- ステアリングユニットを別の製品に交換したとき
または元に戻したとき
- グリップユニットを別の製品に交換したとき
または元に戻したとき
- 使用しているうちに消耗して位置情報に狂いが
生じたとき

1. 初期画面の【セッテイ】を選択し ENT キーを押します。
2. セッテイの【システム】を選択し ENT キーを押します。
3. システムの【VR インフォ】を選択し ENT キーを押します。
4. ステアリングホイールを左右に最後までゆっくり回すと数値が変化しますので、ホイールから手を離してニュートラル状態にします。
5. スロットルトリガーを前進・後進に最後までゆっくり動かすと数値が変化しますので、トリガーから手を離してニュートラル状態にします。
6. 4 と 5 の操作が正常ですと、画面右の【YES】がアクティブになりますので、ENT キーで確定します。

3. 設定前の画面例

VR INFOMATION		
ST- LEFT	X X X X	OK? YES
NUT	X X X X	
RIGHT	X X X X	
TH- HI	X X X X	
NUT	X X X X	
LOW	X X X X	

4.5. 最大までゆっくり動かしてニュートラルへ



6. 画面右の【YES】 がアクティブに

VR INFOMATION		
ST- LEFT	1765	OK? YES
NUT	◇	
RIGHT	-1749	
TH- HI	1204	
NUT	◇	
LOW	-565	

※操作途中で BACK キーを押すとキャンセルされます。

4 電波モードの切り替え

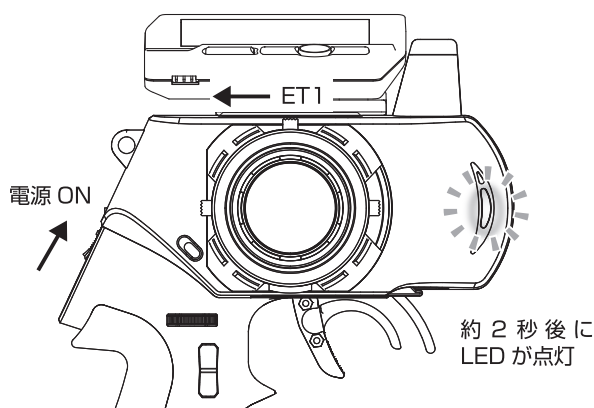
EX-6R には 2 つの電波モードを装備しています。

《機能一覧》

- MINI-Z ASF 用 : LED 点灯
ASF 対応の MINI-Z シリーズを操縦可能。
- MINI-Z MHS 用 : LED ゆっくり点滅
MHS 対応の MR-03 VE PRO などが操縦可能。

⚠ ASF/MHS 対応の MINI-Z のみ使用可能です。
FHS (ミニッツスポーツ) を操縦することはできません。

- ① EX-6R の電源を切ります。
- ② ET1 レバーを左に操作したまま EX-6R の電源を入れます。
- ③ パイロット LED が点灯するまで (約 2 秒) お待ちください。ブザー音が鳴り、EX-6R のパイロット LED が点灯したら、ET1 レバーを離すとモードが切り替わります。

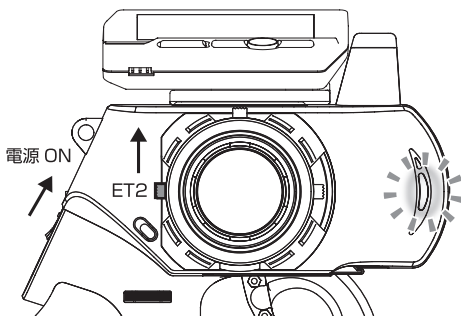


⚠ パイロット LED が速い点滅をしたら、バッテリーの電圧降下の警告です。新しい電池または充電済みのバッテリーパックに交換してください。

5 ペアリング

1. 送信機の準備

- ① EX-6R の ET2 レバーを上に操作しながら電源を入れます。
パイロット LED が点灯したら ET2 レバーを離します。

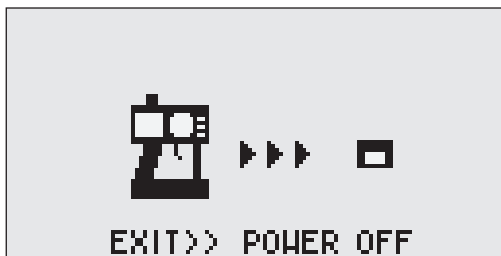


<フランスモードペアリング>

ET2 レバーを操作したまま、LED が消灯してから離すと FRANCE モードペアリングが出来ます。サーキットの状況に合わせてご使用下さい。

- ② LED が消灯し、再点灯します。

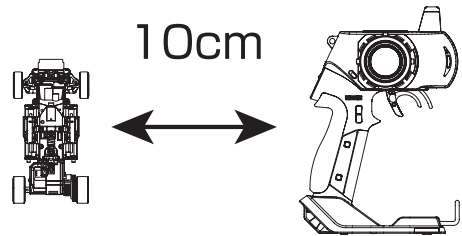
※オープニング画面が表示されたのち、ペアリング画面に切り替わります。



これでペアリング電波が送信されます。

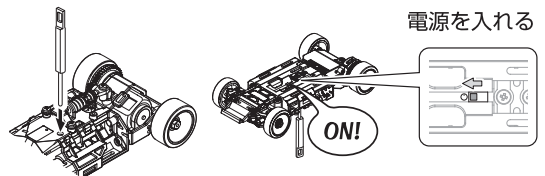
2. MINI-Z の準備

- ① EX-6R と MINI-Z の距離を約 10cm に近づけます。

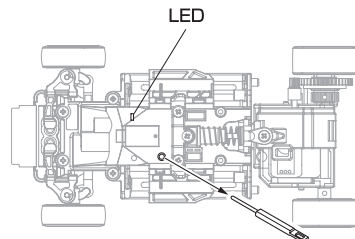


- ② MINI-Z のペアリングボタンを押しながら MINI-Z の電源を入れます。

ペアリングボタンを
押しながら



- ③ LED が点灯したら MINI-Z のペアリングボタンを離し、MINI-Z の LED が再点灯（ペアリング完了）することを確認します。



3. 走行準備

- ① MINI-Z の電源を切ります。
② EX-6R の電源を一度 OFF にして、再度電源を入れます。
③ EX-6R を約 30cm、MINI-Z から離してください。

MINI-Z の電源をいれ、MINI-Z の LED が点灯することを確認します。このとき LED が点滅している場合は送信機の電波を MINI-Z が認識できていないため、再度ペアリングをやり直します。

⚠ 近くで他人がペアリングをしていたり、無線 LAN や電子レンジの影響でペアリング作業がうまくいかないときは、そこから少し離れた場所でするか時間をずらして再度してください。

⚠ 一般 / フランスモード切替後は必ず受信機（MINI-Z）とのペアリングをしてください。

6 MINI-Z MHS シリーズのジャイロコントロール設定

MR-03VE PROなど、MHS方式のMINI-Zでは3chの信号でステアリングジャイロの効果を増減することができます。

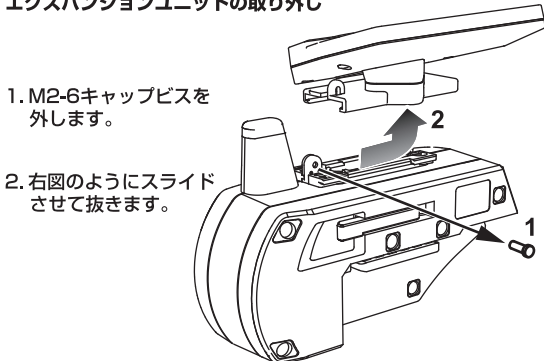
【設定手順】

- ①[セッテイ]>[3・4CH]>と進み、[3CH MODE]項目のSETでENTキーを押します。
- ②[3CH MODE:5WAY]メニューでKEYをET3に設定します。
- ③ET3レバーを上には操作すると、ステアリングジャイロの効果が強くなります。

エクспанションユニットのポジション変更

正面向き、または、横向きに固定できます。
工場出荷時に装着済みのセット品は正面向きです。

エクспанションユニットの取り外し

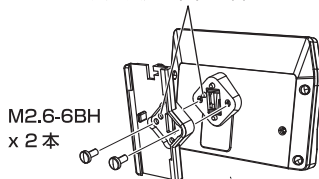


▼B：横向きにマウントする場合

- ①モニターベースをエクспанションに直角に取り付けます。

※工場出荷時から時計回りに 90° 回転。

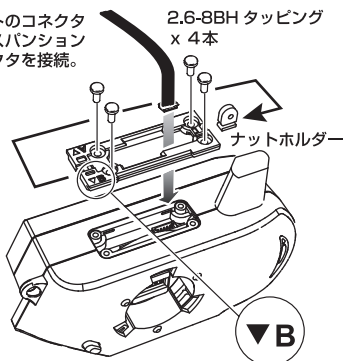
穴と突起の位置を合わせます。



- ②モニターブラケットをマスターユニットに取り付けます。

※[▼ B]の刻印をステアリング側に向けます。

マスターユニットの接続
ソケットにエクспанション
ユニットのコネクタを接続。



- ③エクспанションユニットをマスターユニットに取り付けます。
モニターベースの位置を合わせてください。

※取り付け / 取り外しは、EX-6R の電源をオフに行なってください。

初期画面

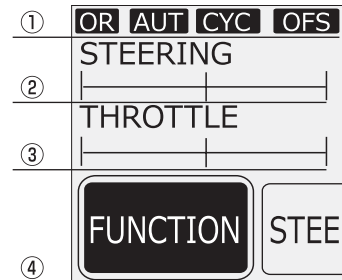
- ① 機能モニター：該当する機能が有効な場合に点滅

OR：オーバーライド
AUT：オートスタート
CYC：サイクル（アクセラレーション / ABS）
OFS：オフセット（ニュートラルブレーキ / アイドルアップ）

▲ 上記の機能が無効の場合には、「MONITOR」と表示されます。

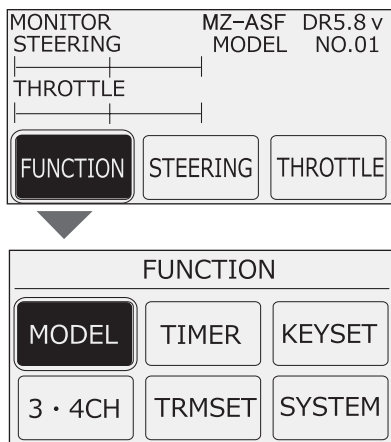
- ② ステアリングモニター：ステアリングの位置情報を表示
③ スロットルモニター：スロットルの位置情報を表示
④ メニュー：3 種の設定項目を表示

FUNCTION（セッテイ） 各種設定を変更できます。
STEERING（ステアリング） ステアリングに関する設定を変更できます。
THROTTLE（スロットル） スロットルに関する設定を変更できます。



機能メニュー

■ ■ ■ FUNCTION セッテイ



■ ■ ■ MODEL モデル

モデル選択やコピーなどの操作ができます。
▶セレクト、ネーム、コピー、リセット

■ ■ ■ TIMER タイマー

タイマーに関する機能を使用することができます。
▶トリガースタート、ラップヒストリー、アラーム

■ ■ ■ KEY SET キーセッテイ

ET、BT キーに様々な機能を割り当てることができます。
▶ET1～5、BT1 ※ET4～5はエキスパートグリップのみ

■ ■ ■ 3・4CH 3・4 チャンネル

3CH・4CHに関する設定を変更できます。
▶MODE: OFF、2WAY、3WAY、5WAY、ANALOG
GYRO、TWIN、4WS、AMP、T-MIX

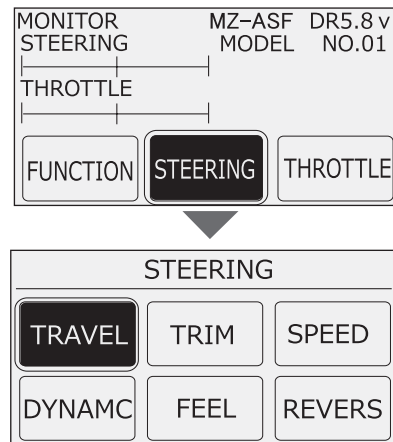
■ ■ ■ TRIMSET トリムセット

ステアリングトリム・バランスを簡単に設定できます。
▶ステアリングオートトリム、ステアリングオートバランス

■ ■ ■ SYSTEM システム

便利なギャレシオ計算機のほか、システム設定を変更できます。
▶画面、バッテリー、計算機、サウンド
VRインフォ、キー速度

■ ■ ■ STEERING ステアリング



■ ■ ■ TRAVEL トラベル

ステアリングの操舵動作量の全体または左右を変更できます。
▶ステアリングトラベル、ステアリングバランス

■ ■ ■ TRIM トリム

ステアリングの操舵角度の中心位置または全体を変更できます。
▶ステアリングトリム / サブトリム / トリムレート

■ ■ ■ SPEED スピード

ステアリングの動作スピードを変更できます。
▶ステアリングターンスピード / リターンスピード

■ ■ ■ DYNAMIC ダイナミック

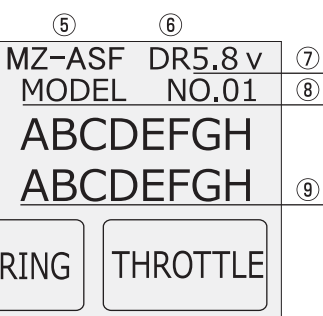
ステアリングのカーブおよびパンチを設定できます。
▶ステアリングカーブ、ステアリングパンチ

■ ■ ■ FEEL フィール

ステアリングのフィーリングを調整できます。
▶ステアリングフィール、スロットルフィールF / B

■ ■ ■ REVERS リバース

ステアリングの動作方向を変更できます。
▶ステアリングリバース



⑤ 電波モード：現在選択中の電波方式を表示します。

MZ-ASF：ASFモード MzMHS G：Mini-Z MHS一般モード
MzMHS F：Mini-Z MHSフランスモード

⑥ 電源種類：バッテリーモードを表示

LP：Lipo（リチウムポリマー）バッテリー DR：単4乾電池（AAA）

LF：LiFe（リフェ）バッテリー

NI：NiMH（ニッケル水素）バッテリー

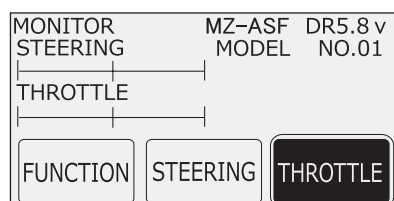
注意）電池・バッテリーの種類を変更した場合は、必ず【電源管理】で設定を変更してください。

⑦ 電源電圧：現在の電源電圧を表示

⑧ モデルナンバー：現在選択されているモデル番号を表示

⑨ モデルネーム：現在選択されているモデル番号のモデルネームを表示

THROTTLE スロットル



TRAVEL トラベル

スロットルの動作量を変更できます。
▶スロットルトラベル

TRIM トリム

スロットルの角度の中心位置または全体を変更できます。
▶スロットルトリム、サブトリム、トリムレート

SPEED スピード

スロットルの動作スピードを変更できます。
▶スロットルスピード / リターンスピード

DYNAMIC ダイナミック

スロットルのカーブおよびパンチを設定できます。
▶スロットルカーブF / B、スロットルパンチF / B

FEEL フィール

スロットルのフィーリングを調整できます。
▶ステアリングフィール、スロットルフィールF / B

PUSH プッシュ

プッシュコントロールの設定ができます。

CYCLE サイクル

アクセラレーション、ABS の設定ができます。
▶アクセル、ABS

ATSTART オートスタート

オートスタートの設定ができます。
▶オン/オフ、トリガーポジション、フォワード量

OFFSET オフセット

ニュートラルブレーキ、アイドルアップの設定ができます。
▶オン/オフ、トリガーポジション、フォワード量

BRK-OR ブレーキオーバーライド

ブレーキ、ST トラベルの最大動作量を設定し、切り替えます。
▶キー、ブレーキ、ステアリングトラベル

REVERS リバース

スロットルの動作方向を変更できます。
▶スロットルリバース

安全について

取り扱いを誤ると危険な結果を招きます。できるだけこのような事態を避けて安全に本製品をお使いいただくために、下記項目をよく読んでお使いください。なお、下記の注意事項に反して使用した場合のご自身や他人への損害は、弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。



警告

取り扱いを誤って使用した場合、
〔死亡または重傷を負う可能性が想定され高い頻度
で物損事故が発生する〕内容です。



注意

取り扱いを誤って使用した場合、
〔傷害を負う可能性または物損事故のみが発生する
事が想定される〕内容です。

機器の取り付け時の注意



警告
禁止事項

- 模型(車体)に、振動で金属パーツが触れ合わないようにする。※金属同士の接触でノイズが発生し、受信機が誤動作して暴走することがあります。
- 受信機のアンテナ線は切ったり束ねたりしない。※受信感度が下がり、暴走することがあります。
- 送信機、受信機の電池を入れるときは、極性を間違えない。※製品が破損します。
- 本製品は、日本国内にて、用途が地上模型に限定。
※指定外の使用は危険ですのでおやめください。



警告
強制事項

- コネクタは、確実に奥まで差し込む。※走行中の振動によりコネクタが抜けると、暴走することがあります。
- サーボを動作させ、タイロッドに無理な力が加わっていないか確認する。※サーボが故障したり、電池の消耗が早くなります。
- MINI-Z 本体・その他オプションパーツは京商純正品を使用する。※当社純正品以外との組み合わせにより発生した損害等につきましては、当社では責任を負いかねます。

使用時の注意



警告
禁止事項

- 雷の鳴っているときには使用しない。※アンテナに落雷の危険があります。
- 雨天や水たまりのある場所では使用しない。※製品に水が入り、暴走することがあります。
- 次のような場所では使用しない。※混信やトラブルにより暴走した場合、危険な事態になります。
 1. ラジコンサーキットの近く(3km 程度以内)
 2. 人や道路や車・船の近く
 3. 高圧線や通信施設の近く
- 疲労・飲酒・服薬により集中力に支障をきたすような時には使用しない。※判断ミスにより思わぬ事故を引き起こします。



警告
強制事項

- 現在のモデルメモリーが実際に走行させるモデルのものか、必ず確認する。※暴走の原因になります。



注意
禁止事項

- 走行後、モーター等、熱くなっている部分に触れない。
※火傷します。



注意
強制事項

- 電源を入れるときは、送信機→MINI-Z 本体の順でおこなう。切るときはその逆の MINI-Z 本体→送信機の順でおこなう。※順番を逆におこなうと、受信機がノイズを拾い暴走することがあります。
- RF モジュール(EX-6R の場合、本体内部)の分解は、法令により禁止されており、罰則の対象。※すべての製品の分解・改造はショートその他の事故の原因となります。また、ユーザー相談室での修理の受付をお断りする場合があります。



注意
強制事項

- 航空機内・病院内、火災報知器などの自動制御機器および医療電気機器の近くなどでは、本製品は使用しない。※誤作動による重大事故が発生する場合があります。また、法令上他の無線機器や電子機器に影響を与える場合には、直ちに使用を中止しなければなりません。
- 2.4GHz 帯のプロポには、(財)日本ラジコン電波安全協会の登録が必要。※ご購入いただいた送信機は登録済みの製品です。登録証明機関の証明のないものは電波法違反となります。

使用後の注意



警告
強制事項

- 必ず走行後は走行用バッテリーをはずす。
※誤って電源が入った時、暴走したり火災の原因になったりすることがあります。
- 送信機や電池・モデルを幼児の手の届かない所に保管する。
※化学物質による被害を受けたり、ケガの危険性があります。



注意
強制事項

- 長期間使用しないときは、送信機から電池をはずしておく。
※そのまま放置すると、電池の液もれにより送信機が破損する恐れがあります。
- 送・受信機は下記のような場所には保管しない。
 1. 極端に熱い所や寒い所(40° 以上~10° 以下)
 2. 直射日光の当たる所
 3. 湿気の多い所
 4. 振動の多い所
 5. ホコリの多い所※このような所に保管すると、ケースの変形や故障の原因になります。

送信機用バッテリーの取り扱い、充電時の注意(別売オプション: 近藤科学社製)



危険
強制事項

- 電池のコネクタ端子を絶対にショートさせない。※発火や破裂の恐れがあり危険です。
- 電池を火中に投げ込まない。※破裂の恐れがあり大変危険です。
- 充電は必ず当社製充電器を使用して、充電電流を守ること。(1A 以下) ※充電電流の設定を誤ると電池にとって危険な状態になり、破裂・発熱・液漏れの恐れがあります。※他社製の充電器では、オートカットしない恐れがあります。



危険
禁止事項

- 電池に強い衝撃を与えない。※壊れて液漏れしたり、ショートして異常発熱することがあります。
- 分解・改造をしない。※分解すると電池内部の液が飛び出し危険です。
- 水に濡らさない。濡れた電池を充電しない。※発熱・破損の原因になります。
- 乾電池を充電しない。※乾電池などの一次電池は、充電できません。破裂・発火の危険性があります。
- 充電器を操作する際、充電器を AC コンセントに差し込む際には濡れた手で触らない。※感電の恐れがあります。

※電池から液漏れがあった場合、絶対に目に入れてはいけません。失明の恐れがあります。もし、目に入ったら多量の水で洗い、医師にご相談ください。

※ニッカド電池などの安易な投棄・廃棄は、環境汚染の恐れがあります。ニッカド電池・ニッケル水素電池・Li-Po 電池・Li-Fe 電池は、リサイクル電池です。リサイクルにご協力ください。

製品についてのお問い合わせ

■ 京商株式会社

〒243-0034 神奈川県厚木市船子 153

●ユーザー相談室直通電話: 046-229-4115

お問い合わせは: 月曜~金曜(祝祭日を除く) 13:00 ~ 19:00

京商ホームページ
www.kyosho.com

メーカー指定の純正部品を使用して
安全にR/Cを楽しみましょう。